

第8回 藤野昌言先生記念講演会

明治12年コレラ大流行の折、自らの命を犠牲にして、当地で診療に当たられた藤野昌言先生の偉業を讃え、府中市と府中地区医師会の共催で開催しております「藤野昌言先生記念講演会」は、今年で8回目となりました。今年度は、結核感染について、身近な問題として分かりやすくご講演頂くこととなりました。多数の方のご参加をお待ちしています。

日時 平成25年10月3日(木) 19:00~20:30

場所 府中市保健福祉総合センター(通称:リフレ)
3階パレアホール(大ホール) 府中市広谷町919-3

演題 「結核は過去の病気? いいえ、現代の病気です!」

地方独立行政法人府中市病院機構

講師 府中市民病院 院長 多田 敦彦 先生



藤野昌言と古香堂

藤野昌言守誠は天保3年(1832年)10月12日府中町朝日町の現在の「備後屋」の建物で開業医藤野元英の長男として生まれ、大阪で医術の修業中(学んだ施設及び師は不詳)、父親の死により19才で家業を継承している。明治12年(1879年)全国的に流行したコレラの治療に専念し、自らも感染、同年10月6日48才で逝去した。葬儀は神道にのっとり行われたが、我が身の危険も顧みずコレラ患者の治療に邁進し職に殉じた医師の死に直面した近隣の人々は深く感銘し、時の芦田郡長鶴岡耕雨の許可を得て同年1月に藤野家の土地、才田に昌言を祀る「祠堂」を建て「若宮」と呼び感謝の気持ちを表した。この「祠堂」は藤野家では「古香堂」と呼ばれるようになった。その後出口の羽中にある藤野家の土地に移され、大正15年羽中の土地を公園にしたいという町の意向により「古香堂」の管理を府中町に委託することで藤野家は羽中の土地を町に寄付された。戦後は「郷土史研究会」が管理を継承し、毎年10月6日昌言の命日に「藤野神社祭礼」が行われ、縁者が集い遺徳を偲んでいる。因みに昌言の墓は金龍寺東方の石井に建てられたが、昭和49年、道路拡張工事のため現在では見晴台に移転改葬されている。

【お問合せ】 ■ 府中市保健課

府中市広谷町919-3

☎ (0847) 47-1310

■ 府中地区医師会

府中市鶴飼町496-1

☎ (0847) 45-3505